

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.88
2015.1

くしろ丹頂



未年

頌春

CONTENTS

● 新年のごあいさつ

- 代表理事組合長 武藤 清隆 ————— 1
北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔章 — 2
代表理事専務 對木 範營 ————— 3
釧路丹頂農業協同組合酪農振興会 会長 折笠 文則
釧路丹頂農業協同組合青年部 部長 瀬戸 賢成
釧路丹頂農業協同組合女性部 部長 吉田 鈴子 — 4

● 組合員組織 ————— 5・6

● 年始日程表 ————— 7

参 監 代

” 表 ” ” ” ” ” ”
監

事 事 事

白 澁 富 村 成 藤 高 田 大 松 梶 對 武 瀧

他 木 谷 坂 上 田 澤 橋 井 坂 下 原 木 藤 澤
職 良 三 泰 純 常 達 博 博 英 範 清 義
員 一 同 雄 博 春 夫 哉 行 雄 行 文 勉 光 譽 隆 一

理 常 代 表 會
務 理 事 長
理 事 專 組
事 務 合 長

謹んで新春の
お慶びを申し上げます

年頭にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事組合長 武藤 清隆



組合員並びに役職員の皆様、新年明けましておめでとう御座います。希望に満ちた平成二十七年の新春を、御家族お揃いで迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年十二月に行われました総選挙は、すでにご承知の様に自公の圧勝に終わりました。結果これまで政府が主張推進してきた経済政策・外交政策・エネルギー政策等々が容認される形となりましたが、今後の日本の方向が非常に気になるところです。特にこの事によって何をおいても経済最優先、経済さえ成り立てばすべてが解決されるという発想が見え隠れします。確かに生活するうえでは、経済が成り立つ事が大切である事は否定するものではありません。しかし、その事を優先する余り、失う物も多い事、またそれについて行けない者もいる事、都市部と地方、個と個において格差の拡大等々多くの課題も見えてきます。特に、基盤の弱体化した我々酪農産業にとっては、しつかり

とその方向性を見極め、声を上げ続ける必要があると考えます。政府は今、疲弊した地方経済活性化を目的に地方創生を謳い各種政策を打ち出そうとしています。酪農版地方創生とも言える畜産クラスター計画（農水省が来年度概算要求の中に盛り込んだ）では、地域の中心的経営体と認定されると施設整備、機械リース整備を支援するとしています。具体化した時には農協としてこれら制度を活用しながらハード面等の整備に取り組みたいと考えています。

さて、昨年の生乳生産は、基盤の弱体等により、当初の目標を大きく割り込む形となりました。そこで農協として増産を図る為、初妊牛導入・保留・施設改善対策の三本柱を持って取り組んだところでありましたが、結果、組合員各位の努力も相まってここへきて前年を上回る所まで回復して参りました。今後は白糠地区でのTMRセクターの本格的稼働によってさらなる増産を期待するところです。こうした中での農家経済であります

すが、五円四十七銭（税込）の乳価の値上げがあったにもかかわらず資材の高騰等により、収支は残念な結果となってしまいました。

一方、面白い話題もありました。第十六回北海道総合畜産共進会乳用牛部門で、(株)敬和ファーム出陣牛がグランドチャンピオンという釧路丹頂農協発足後初の快挙を成し遂げて頂きました。努力をすれば夢は叶う、成果も挙げられる事を実証してくれ、改めて日々の努力の大切さを教えて頂きました。

成田代表には感謝を申し上げますとともに、この事が地域・農協活性化の起爆剤になればと期待する所です。

また、政府の諮問機関であります規制改革会議が突如打ち出した農協改革、政府は農協が果たしている役割をどの程度理解しているのか、今や地方経済を支えている農協に対し、その活動に制限を加えようとする姿勢は決して容認出来るものではありません。TTPP問題も同様です。一方で地方創生を謳い、また一方で農協、農村の活力を奪おうとしている、辻褄が合わないこの対応には農協としてしっかりと対処して行く必要がありますと考えています。

進化論を説いたダーウィンは「強いものが生き延びるのではなく変化に適応したものが生き延び

る」と説いています。今、農協も我々酪農家も色々な意味で変革を求められています。激動する社会において生き残る為には、世の中の変化に対応できなければなりません。農協としてもこれらに対処する為に、一昨年十二月に機構改革プロジェクトを立ち上げ、昨年の十一月にプロジェクトリーダーより成案の提示を受けました。農協と組合員との信頼関係をより強固にする為、出向く態勢の確立と合わせ、管理費の低減を図る事を目的にするものです。この成案提示を受け、今後第二次五カ年計画の推進期間内に具体的に取り組みたいと考えています。

昨年も本当に色々な事がおき、対応に追われた一年でありました。今年こそは平穏な一年である事を祈るばかりですが、共々柔軟な発想を持ちながら前向きに取り組む事が出来ればと考えています。農協として今後もあらゆる手段を講じながら、組合員の生産性向上を図り可処分所得増に向け、役職員一同誠意をもって全力で対応をして参ります。

結びになりますが、今年一年が皆様にとって平安で最良の歳になります事を祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。



年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。さて、昨年の北海道農業は、地域差・個人差があるものの、おおむね順調な作柄となりました。皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

平成二十六年は午年（うまどし）でありましたが、農業・JAをとりまく個々の情勢変化に加え、年末には、衆議院議員選挙が実施されるなど、まさに激動の一年でした。かかる情勢の中、我が国の農業をはじめ国民生活のさまざまな面に大きな影響を及ぼしかねないTPP交渉に関しては、関係国の首脳・閣僚・交渉官等による各種会合並びに交渉が継続的に行われています。

昨年の十一月十日に行われた関

係国の首脳会合では、結果として大筋合意には至らず合意の目標時期も明示されませんでした。協定の早期妥結に向けた取組みをさらに進めていくことなどを確認し合った経過にあり、今後とも予断を許さない情勢にあります。国のかたちを大きく変容させかねない重大な交渉であるにもかかわらず、依然として具体的な情報開示がなされておらず、国民不在のもとでの交渉に大きな不安と憤りを感じざるを得ません。

国会決議の順守とともに我が国の将来に禍根を残すことのないよう、今後とも政府・与党への強力な働きかけを行いつつ、国民世論の形成に向けた取組みを展開して参ります。

一方、政府は規制改革会議における答申を踏まえ、平成二十六年六月に「規制改革実施計画」を閣議決定し、農協系統組織に自己改革を求める内容を示しました。その後、JAグループ北海道として

全道の組合員に参加いただいたうえで組織討議を実施し、頂いたご意見・ご要望をもとに、「多様な価値観に応える北海道農業」・「時代に即した協同組合への改革」を柱とした「JAグループ北海道改革プラン（実行計画指針）」をとりました。

今後、その内容を踏まえ、必要な環境整備に向け政府・与党に働きかけを行うとともに、組合員の皆様方と力を合わせJAグループとしての機能・役割をより一層発揮し、国民各層の理解醸成をはかりながら、改革プランにもとづく事業展開を積極的に推進してまいりますと存じます。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自国の食料は可能な限り自国で賄うべきは、国家が存立していくうえで必要不可欠な取組みであります。我が国の農業の位置づけ・役割を再認識したうえで、農業の持続的発展をはかつていくという国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開などに関係者の自助努力を精力的に進

めていくことが重要であります。

併せて、いまや農業は国民の理解と協力なくしては成り立たない産業であり、農業・JAの実態や取組み、農業・農村の多様な魅力を発信し、国民各層の理解醸成につなげていくことが肝要であります。ややもすると、経済合理主義のもと、効率性や競争が豊かな暮らしの道しるべになるとの風潮がありますが、それぞれの地域や国の実情、多様な価値観を踏まえ、真に豊かな暮らしを追及し実現していく姿勢が今まさに必要ではないでしょうか。

今年の干支は未年（ひつじどし）です。群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和で暮らすことを意味します。改めて家族や農村社会の結びつきを大切に、地域農業・地域社会の共存共栄を目指し、ともに頑張ろうではありませんか。

結びになります。本年が天候に恵まれ実り多い年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。

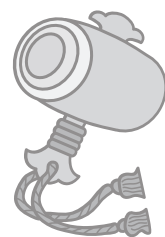


新年にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事専務

對木 範登



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には平成二十七年の輝かしい新年をご健勝でお迎える事とお慶び申し上げます。日頃より組合員の皆様及び関係機関の皆様におかれましては、特段のご指導、ご協力を頂いております事に、心から感謝とお礼を申し上げます。

今年度の日本経済は、何と云っても消費税増税後の景気回復が最大の注目点であり、景気が失速する可能性も高い中でのスタートとなりましたが、「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「成長戦略」の「三本の矢」の一体的推進は、緩やかな景気回復とデフレからの脱却基調が伺えますが、地方にはまだまだその効果が見えてきません。

この様な環境の中、年末におけ

る突然の衆議院解散総選挙となり、自民「一強」体制が鮮明となる結果となったものの、TPP交渉・農協改革・地方創生等を含む農政議論は深まらないままの結果と思う所であります。

そんな中、JAグループは自己改革を含めた諸問題に対し「臆せず」「ひるまず」に役割を果たさなければと考えます。

さて、JAにおいては、「第八期生乳生産安定対策」（平成二十四（二十六）年の増産基調のもと、いち早く乳牛導入、保留施設改築等の対策を打ち出し、回復を目指してきた所でありますが、搾乳農家中止等のダメージが大きく生産が伸び悩んでおりました。十月下旬以降より待望の白糠F・SEE Dの供給稼働の効果も出はじめ、釧路丹頂農協全体の回復の兆しが見えてきました。

粗飼料においては、春から一年を通してまずまずの天候に恵まれ、一番草・二番草・デントコーンと、それぞれ概ね良質の粗飼料が確保された事と思います。今後の乳量回復増産に期待をする所であります。

一方、組合員の農家経済状況は、プール乳価で五円四十七銭/kg（消費税八%補給金込）程の値上げ、個体販売価格（乳牛・肉牛・馬等）についても高値傾向に推移したものの、増税や円安による飼料費・燃油・生産資材等の負担増により昨年にも増して厳しい収支状況となりました。

新年度の営農計画で、今後の先行きが見通せない状況の中で、生乳生産については「第八期生乳生産安定対策」が平成二十七年まで延長される事を受け、増産体制を基本とし「土づくり・草づくり・牛づくり」の計画的な再構築が図れるよう各種補助事業、JA助成事業等を含め、地域の行政・関係機関等と連携し、畜産クラスターの構築を推進・実践し、畜産農家の生産性と収益性の向上を目指し

て参りたいと考えております。あわせて新規就農者を含む担い手後継者の育成・農地の維持確保・基盤整備等についても引き続き検討して参りますが、経営収支改善のための経営管理の徹底、コスト削減等、農家戸々のより一層の努力も必要な年となりそうです。

厳しい状況の中ではありますが、JA北海道大会の決議事項である「持続可能な北海道農業の実現」及び「次代を担う協同の実践」の各重点項目の推進を通じて、更には平成三十年までの「地域農業振興計画」「JA中期経営計画」の計画達成のため取り組んで参ります。

今後共、JAが組合員の期待に応え、農業経営の安定と向上を目指し、役職員一丸となり組合員の皆様と共に決意を新たに参る所存でありますので引き続きご指導・ご協力を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年がご健勝でご多幸の一年となります様、心からご祈念申し上げ新年の挨拶と致します。



新年のご挨拶



釧路丹頂農業協同組合酪農振興会

会長 折笠 文則

新年あけましておめでとうございます。

酪農振興会の会員の皆様にはご家族揃って輝かしい平成二十七年を迎えられた事と思います。

昨年は当振興会の事業に多くの会員の皆様にご参加頂き、誠にありがとうございました。

お陰様で十月開催のパークゴルフ大会や十一月開催の視察研修では、世代を超えて多くの会員と情報交換ができ、楽しい時間を過ごすことが出来ましたし、会員相互の交流が年々

広く深くなっていると感じております。

さて、酪農情勢は日々変化し、私達を取り巻く環境も年々厳しくなっています。今年は

TPP交渉の行方も注目されますが、落ち込んだ生乳生産をどう回復させるのが私達酪農家をはじめ、農業関係団体の大きな課題で

あります。

酪農振興会でも生乳増産の一助になるよう二月に「酪農祭」を開催し、酪農技術に関する講演と懇親会を予定しておりますので、会

員皆様の参加をお待ちしております。

本年も酪農振興会の事業を通して会員相互の良い関係が更に広がり、強い結び付きにな

るよう事業を進めて参りますのでどうぞよろしく願います。

新年のご挨拶



釧路丹頂農業協同組合青年部

部長 瀬戸 賢成

新年明けましておめでとうございます。組

合員・関係機関の皆様におかれましては、旧年中より青年部活動に對しまして、特段のご

支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、例年恒例になりましたイオン釧路店等で実施している、

乳製品消費拡大運動では、大変ご好評をいただき、また消費者との交流を深め「命の大切さ」「食の大切さ」を伝える活動を精力的に行

って参りました。また、TPPの問題や、燃油・飼料費等の高騰に対しては、ポリシー

ブックによる政策提言等も行って参りましたが、今一度、現在行っている活動の意味を見

つめ直し、現在・今後の酪農を担う青年としての発想と行動力で青年部活動はもとより、

北海道酪農を盛り上げていきたいと考えております。

最後になりますが、本年も、関係機関の皆様方のご指導ご鞭撻の程賜りますようお願い

申し上げます、今年一年の皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

新年にあたり



釧路丹頂農業協同組合女性部

部長 吉田 鈴子

新年あけましておめでとうございます。御

家族お揃いで新年を迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。

昨年は、六月三日に丹頂女性部交流会を幌呂支部担当で行い、室内カーリングで歓声を

あげ、昼食をとりながら懇親を深めました。部員の皆さんにおかれましては、農繁期前

心も体もパワーアップし、各支部での活動も盛んに行なわれております。関係機関の皆様

におかれましては、日頃よりご指導ご協力を頂き、感謝とお礼を申し上げます。

女性部事業が、今日の農村女性の地位向上に重要な役割を果たし、「食と農」の魅力や

地産地消の取り組みなど、地域の仲間づくりによって活動を展開しながら、「元気に明るく」をモットーに女性らしく「色気・洒落気・

情け」を忘れずに活動して参ります。

昨年の暮れには予想しない衆議院選挙があり忙しい一年ではありましたが、皆様方にとりまして、本年がご健勝でご多幸の一年と

なります様、心からご祈念申し上げ新年の挨拶に代えさせていただきます。

ＪＡくしろ丹頂組合員組織

あけましておめでとうございます。

釧路丹頂農協女性部

部長 吉田 鈴子

釧路丹頂農協青年部

部長 瀬戸 賢成

釧路丹頂農協酪農振興会

会長 折笠 文則

釧路丹頂和牛改良組合

組合長 成田 俊英

釧路丹頂農協馬事振興会

会長 江崎 勝三

釧路丹頂農協乳牛改良同志会

会長 瀧澤 一成

外国人研修生受入協議会

会長 渡部 隆信

幌呂大型機械利用組合

組合長 大碓 晋二

鶴居営農組織代表者協議会

会長 千葉 喜好

鶴居村乳牛検定組合

組合長 松井 俊治



ＪＡくしろ丹頂組合員組織

本年もよろしくお願い申し上げます。

鶴居村酪農ヘルパー利用組合

組合長 高橋 文雄

白糠町乳牛検定組合

組合長 田口 秀男

白糠町酪農ヘルパー利用組合

組合長 野上 敏

音別町酪農ヘルパー利用組合

組合長 志賀 忠浩

白糠町野菜生産組合

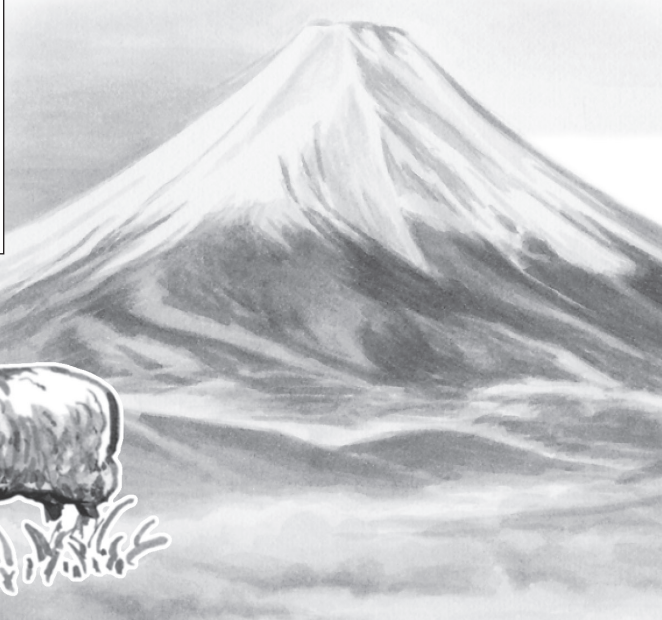
組合長 細谷 照雄

白糠町農民組合

執行委員長 芳澤 浩一

白糠町農村青少年クラブ

会長 五十嵐 大地



JAくしろ丹頂 年始日程表

年月日	部門	各 地 区 の 事 務 所			販 売		家畜改良	生 乳	哺育育成	幌 呂
		管理・共済	金 融	営 農	鶴居・幌呂	白糠・音別	鶴居・幌呂 白糠・音別		センター	育成牧場
平成27年 1月1日(木)								通 常 業 務		
1月2日(金)							業務始め*			
1月3日(土)										
1月4日(日)										
1月5日(月)			業務始め							
1月6日(火)		業務始め		業務始め	初生集荷・業務始め			↓	↓	↓

年月日	部門	購 買 ・ 鶴 居			購 買 ・ 幌 呂			購 買 ・ 白 糠		購 買 ・ 音 別		
		生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
平成27年 1月1日(木)												
1月2日(金)												
1月3日(土)			業務始め			業務始め*						
1月4日(日)										業務始め 午後6時まで	業務始め	
1月5日(月)		業務始め						業務始め 午後6時まで		午後6時まで		
1月6日(火)				業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め

*午前中のみ営業となります。

営 業 日	休 業 日
-------	-------

1/6(火)は、全業務午後4時までの営業となります。
金融ATMは平常営業をしております。

・万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル（☎0120-258-931）に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。

- ◆鶴居地区の皆様へ
- ・生産資材に関することは、山村課長（52-1489）に連絡して下さい。
 - ・万一、配合飼料が無くなった時は、大松運輸（57-8388）もしくはホクレン（岩谷職員 090-7642-0725）に連絡して下さい。
- ◆幌呂地区の皆様へ
- ・生産資材に関することは、田中課長（090-3116-1508）に連絡して下さい。
 - ・給油スタンドに関することは、田中課長（090-3116-1508）に連絡して下さい。
 - ・万一、配合飼料が無くなった時は、全酪連釧路事務所（荒木購買課長 080-5471-3582）か（牧瀬職員 080-5471-3683）に連絡して下さい。
- ◆白糠地区の皆様へ
- ・生産資材に関することは、田村課長（自宅2-2641 携帯090-7647-4585）に連絡して下さい。

- ・給油スタンドに関することは、給油所（2-2084）に連絡して下さい。
 - ・万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸（0154-57-2777）に連絡して下さい。
- ◆音別地区の皆様へ
- ・Aコープは1月4、5日は午後6時までの業務となります。
 - ・生産資材に関することは、林課長（6-2529）に連絡して下さい。
 - ・万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸（0154-57-2777）に連絡して下さい。
- ◆人工授精業務、年末年始の対応について
- ・12月31日及び1月2日の人工授精業務につきましては、午前9時30分までの受付分（厳守）対応となりますので、よろしくお願い致します。

表 紙 の 絵

□表紙の写真は、白糠地区の正組合員酒井伸吾農場で飼育されている羊を掲載させて頂きました。撮影時には、群れで動きまわる元気な姿が大変印象的でした。酒井さんご協力ありがとうございました。

編 集 後 記
EDITOR'S NOTE

□新年明けましておめでとうございます。本年が皆様方にとりまして充実した良い一年となりますよう、心からご祈念申し上げます。

□本年も広報誌「たんちょう」作成にあたり、ご指導とご協力の程よろしくお願い致します。